

沖縄の英語教育を 考えるフォーラム in Okinawa

第9回



— 沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育 —

趣旨

グローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存が一層深まっ
ていく中で、子どもたちが21世紀を生き抜くためには国際共通語と
しての英語のコミュニケーション能力を身につけることが不可欠です。
沖縄県では、国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構
築が求められ、本県の振興に貢献できる志を持った人材の育成や
世界との交流ネットワークの構築、国際感覚を有した人材育成の形
成が喫緊の課題です。

本フォーラムは「英語立県沖縄」応援事業の一環として捉え、
「沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育」をコンセプトに本県
の英語教育の改善・充実に資することを目的に開催いたします。

日時・場所

平成29年3月25(土)
10:00~17:10 (9:00 受付)

於：沖縄女子短期大学
(与那原町字東浜1番地)

担当：大城桂子(浦添商業高校)
seminar@okieikai.com

Webサイトからのお申し込みも受け付けています。

- 対象：小学校から大学までの教員及び学校関係者や英語教育に関心がある方
- 定員：200名(先着順とします)
- 参加費：500円(但し学生は無料)
- 申し込み方法：

当会ホームページ申込書ファイル

<http://www.okieikai.com> をダウンロードし
3月10日までに担当までメールに申込書を
添付して送付して下さい

プログラム

9:00 受付開始

公開授業 「新しい時代に即応した授業実践」(田邊 祐司 氏) 専修大学教授 10:00~11:20

英語教育ワンポイントレッスン (金森 強 氏) 文教大学教授 11:25~11:55

受付・昼食 12:00~12:40

開会行事 12:00~12:40

実践発表 「4技能統合型の授業実践例」(鎌田 洋子 氏) 札幌市立清田高校教諭 13:00~13:30

基調講演 ① 「今求められている授業改善の意義と背景：音声指導の Active Learning を例に」
(田邊 祐司 氏) 専修大学教授・博士(教育学)・元 NHK 基礎英語担当 13:35~14:35

基調講演 ② Fostering International Understanding, Cultivating a Sense of Global Awareness
(ディリーブ・チャンドラール 氏) 沖縄大学副学長・図書館長・言語博士 14:40~15:40

パネルディスカッション： 15:45~17:00

新しい時代に即応した授業：特に Active Learning を考慮した授業展開

■ パネリスト：

- 小学校：新川美紀 氏 (浦添市立港川小学校教諭)
- 中学校：鎌田洋子 氏 (前札幌市立北野台中学校教諭)
(北海道札幌清田高校教諭)
- 高校：仲村昌康 氏 (沖縄県立普天間高校教諭)
- 大学：田邊祐司 氏 (専修大学教授)

■ コーディネーター：

- 金森強 氏 (文教大学教授) 下地敏洋 氏 (琉球大学教授)

■ オブザーバー：

- 御園和夫 氏 (関東学院大学名誉教授・言語学博士)

閉会行事 17:05~17:10

情報交換会 18:00~20:00

- 主催：沖縄の英語教育を考える実行委員会(主管：沖英会) ●共催：琉球新報社・(公財)日本英語検定協会
- 後援：沖縄県教育委員会・与那原町教育委員会・日本英語音声学会・沖縄県高等学校英語教育研究会・沖縄県中学校英語教育研究会・沖縄科学技術大学院大学・在沖米国総領事館・沖縄観光コンベンションビューロ・琉球放送・沖縄テレビ放送・琉球朝日放送・ラジオ沖縄(ほか)
- 特別協力：沖縄女子短期大学 ●協賛団体：旺文社・関東学院大学・関学サービス・教育測定研究所・IQ-Strategy・プロテスト・国際発音協会・NPO法人沖縄語学センター・PIEE・日経教育グループ・学校法人沖縄尚学・ヒューマングループ(ほか)